



## ふるさと通信 第15号 (平成20年6月発行)

「ふるさとサポーター制度」の取り組みとして4年ぶりに復刊。  
町とのつながりを深め、PRやアドバイスなどのサポート活動を通して、町を応援していただきたいとの思いから創設しました。  
ふるさとサポーターへ登録していただいた方へのプレゼント企画として、オオカミの桃やパレットヒルズの写真を使った「名刺台紙」や「絵はがき」をプレゼントしました。



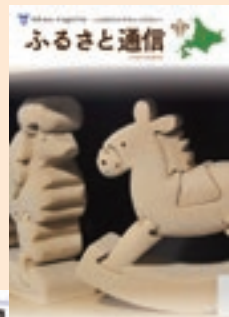
## ふるさと通信 第25号 (平成25年6月発行)

平成25年より取り組みがはじまった「親子 心のかけはしプロジェクト」を紹介。いつまでも親子やふるさとと鷹栖との絆を大切にしたいという思いで、生まれてきた子どもたちへ、町の間伐材を使用した記念品を贈呈する事業です。また、ふるさとサポーターの皆さんからいただいた応援メッセージを掲載しました。



## ふるさと通信 第31号 (平成28年7月発行)

パンフレットのように手軽に読んでいただけるよう、A5版8ページへ仕様を変更しました。  
見開き2ページを使い、北斗地区にある商店や東京都浅草の商業施設「まるごとにつぼん」へ出展している「鷹栖町活性化協議会」の紹介をしました。



## ふるさと通信 第33号 (平成29年6月発行)

第32号で皆さんからいただいたアンケートを参考に、取材先や掲載する記事を選定しました。  
木工クラフトを製造、販売している「森風社」やアットホームな雰囲気の飲食店「やき鳥居酒屋 ふくい」を紹介しています。

平成27年度よりふるさと通信の発行に携わり3年。今回で6号目の制作となりました。  
みなさんからいただいたご意見・ご感想を参考にしながら、「ふるさと鷹栖を思い出していただきたい」、また、パンフレットのような感覚で手に取り、読んでいただき「鷹栖町のことをさらに知っていただきたい」との思いでふるさと通信を制作しています。

(長原)



一ふるさと鷹栖からの贈りもの

# ふるさと通信 に込める思い

平成9年に創刊された「ふるさと通信」は、「生まれ育った町」鷹栖町を離れた人に、ふるさとを思い出していただきたいとの思いが込められ発行されました。  
創刊から20年が経った今、鷹栖町を応援して下さるみなさんに読んでいただいている「ふるさと通信」の歴史を紹介します。

## ふるさと通信 創刊号 (平成9年7月発行)

A4版の4ページで「東京の娘へ」など親から町外に住んでいる子へ向けたメッセージを掲載しています。  
また、昭和50年頃と発刊時のイベントや小学校の様子を写真で紹介。  
「ふるさと鷹栖」の懐かしい風景を思い出すことができる創刊号です。



## ふるさと通信 第2号 (平成9年12月発行)

町内の施設やスポットを紹介する「ふるさと探訪」の連載が始まり、1回目は平成6年にオープンした「たかすメロディーホール」を紹介しました。  
また、第1号で募集した「おじいちゃん おばあちゃんの似顔絵」を掲載。孫から鷹栖町に住んでいる祖父母への思いも込められた1冊となりました。

## ふるさと通信 第6号 (平成11年12月発行)

平成11年11月にオープンした「サンホールはびねす」の紹介や当時、話題となった「産業廃棄物処分場建設計画」に対する町民運動の経過を掲載。  
また、「ふるさとへの絵手紙」として町外に住んでいる方から送っていただいた絵手紙を紹介しました。

